

平成7年

# 春の全国交通安全運動

実施中

運動のスローガン

## 毎日通る道だけど とび出しおしゃべり 事故のもと



春の全国交通安全運動が5月11日～20日までの10日間全国一斉に実施されています。県下においても、各種運動が展開され、県民1人1人が交通安全の正しい知識を普及し、交通安全思想の高揚を図り、交通ルールとマナーの実践を習慣づけることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的として行われています。

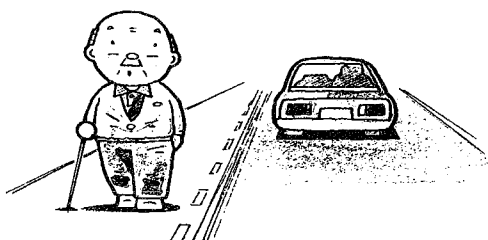
- 1、高齢者の交通事故防止
- 2、子供の交通事故防止
- 3、シートベルトの着用徹底の3点です。

大型連休も終り、ドライバーや歩行者のみならず、つい気がゆるみがちではないでしょうか。そんな時、事故はおきやすいものです。交通事故を起こさないよう、又、あわぬようみんなできをつけましょう。

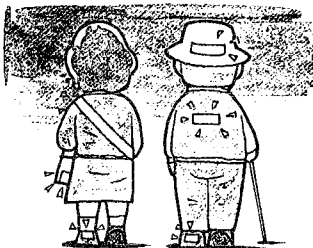
### ① 高齢者の事故防止

まだまだ若いと思っても、視力が衰えていたり、手足の動作が鈍くなっていたりするものです。日常の健康管理に心がけ、事故にあわないようにしましょう。

- 歩道がある道路ではそこを歩きましょう。

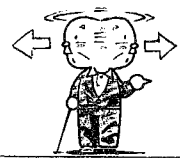


- 夜間の外出は明るい色の服装や夜光反射材を利用しましょう。



### 渡る前に必ず立ち止まる

- 渡り始める前に必ず立ち止まりましょう。



### 右、左の安全を確認

- 近づいてくる車がないか、確認しましょう。

### ② 子供の交通事故防止

新学期を迎えてから約1ヶ月が過ぎ、子供たちも学校生活にようやく慣れてきたことと思います。登下校時や路上には危険がいっぱいまちかまえています。学校だけでなく、家庭においても、交通安全について、わかりやすく、教えてあげてください。

### ③ シートベルト着用徹底



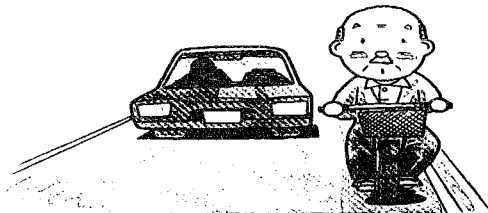
シートベルトは正しく着用します。

### 交通安全教室を開催

4月26日、月潟小学校において、交通安全教室が開催され、ダミー人形による交通事故の恐ろしさを体験しました。全校児童が見守る中、自動車にダミー人形をはねるといふ想定で行われ、実際、目の前でダミー人形がはねられる様子を見て、交通事故のこわさを認識していたようです。その後、白根警察署の方の講話で、自動車は最も怖い乗り物だという話を聞いて、いつもは元気な子供達もその時はやはり、みんな真剣な顔で聞き入っていました。これを機会に子供達の交通事故がなくなってくればよいと思います。

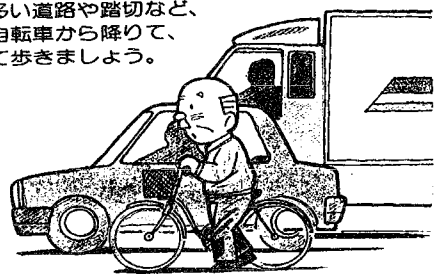
### 自転車は左側を渡る

- 車道を走るときは、道路の左側端を通りましょう。

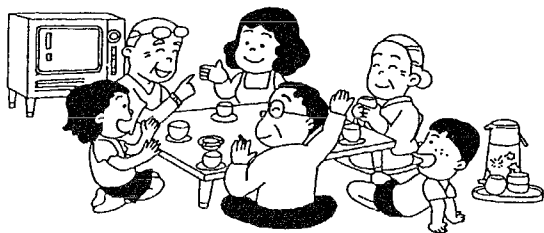


### 危険な場所は押して歩く

- 車の多い道路や踏切など、では自転車から降りて、押して歩きましょう。



### 交通安全は家庭から



自動車の運転は、いくら自分が気をつけていても、いつ事故に巻き込まれるかもしれないという危険性を常にもっています。ですから、「すぐそこまでだから」とか「面倒だから」といわず、シートベルトを着けるほんの数秒の動作を忘れないでください。又、シートベルトを着用すると運転姿勢が良くなり、事故の危険に直面したときの対応や判断が正確に行えるということがあります。あなたやあなたの家族、同乗した方の運命を左右するシートベルト。必ず着用しましょう。

